

学校の教育目標	○すなおな明るい元気な子 ◎よく考えやりぬく子 ○なかよく力をあわせる子 ○自然に親しむ子	育成を目指す資質・能力及び特色ある教育活動
目指す学校像(ビジョン)		「かしこさ」：自ら問いかけ、考え・判断し、表現・行動する力(令和8年度重点) 「ゆたかさ」：自他を尊重し、共感的に考え・判断し、対話を通して、合意形成しながら、共生・共創する力 「たくましさ」：自他の心と体の保持増進に向け、自ら考え・判断し、実践を重ねる力
【目指す学校像】	「かしこさ」「ゆたかさ」「たくましさ」を兼ね備えた、これからの未来を担う人材となる児童を育成する学校	○「ホンとの子カラ清四小」で得た語彙や表現等を活用して、各教科等で思考力・判断力・表現力を高める教育活動を推進すること ○「たい がはねる姿」で育まれた意欲や主体性を確かなものへと高めるために、各教育活動の取組を子どもたちが主体的に考える視点を入れた内容へと改善を図ること ○特に授業では、子どもたちが主体的・探究的に学んでいけるよう、「やりたい」「やってみたい」とWANTがあふれるような学習展開及び、学んだことが他教科の内容や日常、社会とつながるように発展的な展開を意識した学習活動に重点をおくこと ○見る・触れる・動かなどの直接体験により知識がより深く身に付くよう、観察・見学、体験活動を充実すること
【目指す児童像】	持続可能な社会の創り手として、主体的に考え・判断し、他者と協働し、力強く表現・行動する力を持った児童	
【目指す教師像】	人間性・社会性・倫理観、高い専門性と自律性を兼ね備えた授業力のある教員 ※目指す組織像：協動的な同僚性の高い自走・共創集団	

前年度までの学校経営上の成果と課題

【成果】重点を置いてきた読書活動や漢字検定「漢四漢検」は、児童の読書意欲や漢字の確実な定着につながった。また、地域と連携した読み聞かせは、「学校を核とした地域づくり」の具現化の一步となった。

【課題】読書量や学習内容の定着、考える力や主体性など、児童間格差が見られる。支援を強化するなど、誰一人として取り残さない対応を再検討・実施していく。

柱	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標(評価基準)	成果指標(評価基準)
確かな学力の向上	【かしこさ】 自ら問いかけ、考え・判断し、表現・行動する力の育成	主体的に考え・判断する力の育成	①学校経営方針・校内研究等で目指す授業像を踏まえた授業改善 ②主体的に考え・判断する力を育む視点を入れた行事・取組への見直し・改善	4 全教員授業実施(年間10回以上) 3 教員8割以上の授業実施(年間10回以上) 2 教員6割以上の授業実施(年間10回以上) 1 2の評価基準に満たない	4 教員自己評価アンケート項目3 9割以上 3 教員自己評価アンケート項目3 7割以上9割未満 2 教員自己評価アンケート項目3 6割以上7割未満 1 2の評価基準に満たない
		漢字・読書・言葉等の語彙、算数の基礎・基本内容の確実な定着	①東京ベーシック・ドリルの診断テストを活用した学習内容(算数)の確実な定着 ②ミライシード(ドリルパーク・テストパークなど)の授業内での日常的活用	4 全学級ミライシードの日常的活用(年間100回以上) 3 全学級ミライシードの日常的活用(年間70回以上) 2 全学級ミライシードの日常的活用(年間50回以上) 1 2の評価基準に満たない	4 東京ベーシック・ドリル第5・6学年算数診断テストC得点8割以上 3 東京ベーシック・ドリル第5・6学年算数診断テストC得点7-8割 2 東京ベーシック・ドリル第5・6学年算数診断テストC得点6-7割 1 2の評価基準に満たない
豊かな心の育成	【ゆたかさ】 自他を尊重し、共感的に考え・判断し、対話を通して、合意形成しながら、共生・共創する力の育成	いじめ防止の推進	①学校独自の「いじめ防止リーフレット」の作成・活用による、児童指導及び保護者啓発 ②「親切・思いやり」の内容項目を重点としたいじめ防止の授業の実施	4 教員自己評価項目7 肯定的評価8割以上 3 教員自己評価項目7 6割以上8割未満 2 教員自己評価項目7 5割以上6割未満 1 2の評価基準に満たない	4 児童アンケート項目10・11 双方とも8割以上 3 児童アンケート項目10・11 どちらか8割以上 2 児童アンケート項目10・11 どちらも6割以上8割未満 1 2の評価基準に満たない
		社会性(集団行動・コミュニケーション)の醸成	①挨拶運動の実施及び、質の高い挨拶励行のための、各学級での話し合いと実践 ②異学年交流「ここにこ班活動」での定期的な異学年交流	4 挨拶運動の実施(年間150回以上) 3 挨拶運動の実施(年間100回以上) 2 挨拶運動の実施(年間50回以上) 1 2の評価基準に満たない	4 児童アンケート項目13 9割以上 3 児童アンケート項目13 7割以上9割未満 2 児童アンケート項目13 6割以上7割未満 1 2の評価基準に満たない
健やかな体の育成	【たくましさ】 自他の心と体の保持増進に向け、自ら考え・判断し、実践を重ねる力の育成	自らの体力の状況を踏まえて、自ら体力向上に努める意識の高揚	①体力テストの結果分析と改善策の提案 ②休み時間等で育む、持久力・投擲力・敏捷性を高める遊びや体育的活動の提案 以上2提案を踏まえた、各学級での定期的な実践	4 全学級 提案内容の実施 3 学級8割以上 提案内容の実施 2 学級6割以上8割未満 提案内容の実施 1 2の評価基準に満たない	4 児童アンケート項目12 9割以上 3 児童アンケート項目12 7割以上9割未満 2 児童アンケート項目12 6割以上7割未満 1 2の評価基準に満たない
		本校の課題を踏まえて考える健康教育の推進	①外部機関等と連携・協働する健康教育(特に睡眠、食育、視力) ②誰もが安全・安心して取り組むことができるニュースポーツ(例 ダブルダッチ・ポッチャ、スポチャンなど)の実施	4 計画した全ての取組を実施 3 計画した8割以上の取組を実施 2 計画した6割以上8割未満の取組を実施 1 2の評価基準に満たない	4 健康大作戦カード提出率 9割以上 3 健康大作戦カード提出率 7割以上9割未満 2 健康大作戦カード提出率 6割以上7割未満 1 2の評価基準に満たない
連携・協働の充実	家庭・地域・近隣学校・関係機関と連携した特色ある教育活動の充実	【学校運営協議会】 学校運営協議会の活性化 ※教職員と委員との行動連携	①特色ある教育活動の活性化に向けた熟議と教職員の会議内容の理解 ②学校運営協議会への教職員参加	4 学校運営協議会全回数 教職員参加 3 学校運営協議会2~4回 教職員参加 2 学校運営協議会1回のみ 教職員参加 1 2の評価基準に満たない	4 教員自己評価項目9 肯定的評価8割以上 3 教員自己評価項目9 7割以上9割未満 2 教員自己評価項目9 6割以上7割未満 1 2の評価基準に満たない
		【学校支援地域本部】 生活科・総合的な学習の時間等の授業における、学校支援地域本部等との連携・協働	①外部人材(本校元教員・地域・外部機関)の力を活用した、自然観察・見学、体験活動・体験教室の実施 ②読み聞かせ等、読書活動の実施	4 教員自己評価項目8 肯定的評価8割以上 3 教員自己評価項目8 6割以上8割未満 2 教員自己評価項目8 5割以上6割未満 1 2の評価基準に満たない	4 児童アンケート項目8 肯定的評価9割以上 3 教員アンケート項目8 7割以上9割未満 2 教員アンケート項目8 6割以上7割未満 1 2の評価基準に満たない
働き方改革の推進	「気付き」「考え」「実践する」学校・教職員をめざした、教職員の働き方改革の推進	全教員：4~12月までの月間平均時間外勤務45時間未満(※8月除く)の実現	①定時退勤日(週1回18:00まで)の設定と徹底 ②学年会の精選(週1回1時間程度) ③ICT等を活用した会議運営の見直しと改善(2学期以降)	4 全教員による取組の徹底 3 8割以上の教員による取組の徹底 2 7割以上の教員による取組の徹底 1 2の評価基準に満たない	4 全教員：4~12月までの月間平均時間外勤務45時間未満 3 8割以上：4~12月までの月間平均時間外勤務45時間未満 2 6割以上：4~12月までの月間平均時間外勤務45時間未満 1 2の評価基準に満たない
		学校業務の質の向上及び精選、業務の平準化	①働き方改革基本方針の策定 ②働き方改革の視点を入れた業務内容の見直しと改善提案 ③副担任制の質的向上 ④ICT機器を活用した校務改善	4 全教員による改善提案 3 8割以上の教員による改善提案 2 7割以上の教員による改善提案 1 2の評価基準に満たない	4 教員自己評価項目15 肯定的評価8割以上 3 教員自己評価項目15 7割以上9割未満 2 教員自己評価項目15 6割以上7割未満 1 2の評価基準に満たない